

いの いわで実りたより

祈祷課題

- ① 良き協力者が与えられるように
- ② 地域との良い関係を築いていくことができるように
- ③ 地域の他の教会とも良い協力関係を結んでいくことができるように
- ④ 教会の存在が知られ、集われる方が起こされるように
- ⑤ 教会を通して福音に触れ、救われる方が起こされるように

岩出みのりチャペル

牧師：中村 忍・未華

住所：

〒649-6248

和歌山県岩出市中黒 62-1

アトレ中黒D棟1号

電話：0736-79-4191

Eメール：

iwade.minori@gmail.com

facebook：

<https://www.facebook.com/iwade.minori>



<献金>

名義：日本同盟基督教団

岩出みのりチャペル

ゆうちょ銀行(店番 478)

記号：14740

口座番号：22213431

「しかし、信じたことのない方を、どのようにして呼び求めるのでしょうか。聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」と書いてあるようにです。」ローマ10:14、15

キャラバン伝道の報告

11月3日～5日の連休を利用して、岩出みのりチャペルのキャラバン伝道が行われました。隊員の募集が一週間で定員になったのは、岩出みのりチャペルへの期待を伺わせるものでした。隊員は通いを含め総勢15名で、関東や東海地区からのエントリーもありました。初めてキャラバンに参加した方もいれば、複数回キャラバンを経験している方もおられました。その他に隊員の食事作りをしてくださった方もおられ、多くの方の奉仕の結集で成り立った働きでした。



今回のキャラバンは、みのりチャペルが開拓もないということもあって、地域の方々にもその存在を知ってもらうことに重点を置きました。そのため、トラクト配布を中心とした活動となりました。私の神学生時代の先輩に「お母様が畑で拾ったトラクトによって救いに導かれた」という方がおられました。その方の証によると、お母様が畑仕事をしていた時、振り下ろした鍬に風で飛ばされてきたトラクトが絡みついたのだそうです。彼女は手を休めてそのトラクトを読んで、トラクトに記された教会の門を叩きました。そして程なくして救われ、その信仰は息子にも受け継がれたのでした。



この度のキャラバンで私たちが配る一枚一枚のトラクトが、どのような扱いを受けるかは分かりません。読んでいただけることもあるでしょうし、読まずに捨てられることもあるで

しょう。いずれであっても、捨てられたトラクトでさえ用いられる神様です。必ずや、不思議なドラマも起こしてくださることを期待しながらの配布でした。結果は、現在のところ二人の方からの反応を聞いています。一人は聖書を求めて教会を訪れ、もう一人は身の上話を聞いてもらうために来られました。今後何がしかの反応があると思います。



ところで、今回のキャラバン隊の宿泊は、蛍池聖書教会の信徒さんの家に泊めさせていただきました。本来なら宿泊料をお支払いしなければならぬところですが、ご厚意により無料で泊めていただきました。また特別の計らいで、その家のミカン農園で楽しいミカン狩りも体験させていただきました。岩出みのりチャペルも、このミカン園のように多くの実を成らせることができると願われました。

最終日の主日礼拝は、キャラバン隊と新しく来られた教会関係者三名も加わってにぎやかな礼拝でした。キャラバン後は少ない礼拝に戻りますが、今後一人でも多くの礼拝者が与えられるようにと願います。

最後にキャラバンの間、隊員の全員の「救いの証」を分かち合う時を持ちました。これによって神様の導きの多様性と豊かさを確認することができて、改めて福音を伝える喜びを覚えました。そして、皆さんの信仰の姿勢から救霊の熱を分けていただきました。今後も第二次キャラバン・第三次キャラバンと受け継がれることを期待します。

(武庫之荘めぐみ教会牧師 松田吉広)